Ⅱ　「お米募金」＆「ホカロン配布」

・１月２９日、**宮城県登米市の「南三陸町被災者の仮設住宅」（３５０世帯）**へ、12 月下旬に呼びかけ、18 人から集まった「お米募金」１８万円で現地農家から「コシヒカリ」「ひとめぼれ」を購入、宮城県の現地ボランティア澤口さんとその仲間とともに、農業団体から寄付されたお米も含め、全世帯に４ｋｇづつ配布。

・また上智大友人 A さんより、ミヨシ石鹸からの「ホカロン３０袋１万個」寄付申し出あり、**福島県相馬市の小池長沼（西）仮設住宅、寺内塚合仮設、宮城県大崎市ボランティアＳさん、同大河原町ボランティアＨさん**へ送付。

Ⅲ　「2012 年被災者支援会議」開催

２月５日、中大駿河台会館で、「２０１２年支援会議」。昨年支援に参加した３２名参加。ここで、「心のケア」「生活必需品配布」の支援継続方針を確認。

【当時のレポート】

１　**日時―２月５日（日）**午後１時半～５時

２　**会場―中央大記念館３２０番教室**

３　**参加者―３２名**（会費 800 円へ変更）

・中大関係者とカトリック教会関係者が多かったが、私自身、どちらでもなく、「友人の友人」が拡がった結果、で、「３１１　有志」は、あくまで、特定の宗教・政党・思想などに偏らない、個人の集まり。小学校同窓関係と、上智大関係者も多かった。

４　**会議内容**（司会―齋藤。添付「会議進行＆参考文献」）

①　**冒頭の挨拶と２０１１年報告**（齋藤。添付「配布資料」）―午後１時半～２時１０分

・宮城県亘理地区「さざんか広場」支援活動総括。この総括から、２０１２年は、現地ボランティアの「道先案内人」を介し、支援は、「生活必需品」と「心のケア」に絞ることに。

②　**特筆すべき活動報告**―　午後２時１０分～４０分

・Ｋさん―多様な組織への拡がり（オケ、サッカー、テニス、同窓会、会話教室・・・）

・Ｙさんーバザー・フリマで募金・換金し、メッセージ付きお餅３００人分ほか

・齋藤―渋谷教会での「布団・暖房器具」集めと２ｔトラックでの搬送

③　**休憩**―午後２時４０分～４５分

④　**自己紹介**―午後２時４５分～４時３０分

・全員が熱心に発言。時間大幅超過。これまで、「支援物資」送付者として顔を合わせることのなかった多くの方々からも新鮮な自己紹介。特に海外への支援や、交通遺児の支援を行ってきた方々が散見され、今回の「孤児」「遺児」への支援への思いが強い挨拶が相次いだ。

５　**2012 年取組みと方針**

⑤　**改めて「東日本大震災」とは？**（添付「雨ニモマケズ」「司会用メモ」）

・１１００年前「貞観地震」。宮沢賢治誕生の年、明治２９年「明治三陸津波」で死者２万。死去の年、昭和８年、「昭和三陸津波」で死者３千人。「雨ニモマケズ」にある「行く」の繰り返しに大きな意味。３月 16 日の辺見庸の書いた短文、が全てを表現。

⑥**「お米募金」「ホカロン１万個」寄贈**（添付「ホカロン＆お米募金」）

・18 万円１１２世帯分のお米、１月 29 日登米市「南三陸町被災者仮設住宅」（350 世帯）へ配布。ホカロンも。（ほかに福島県南相馬市の仮設住宅２か所へ送付）

⑦**「石巻市民交響楽団」支援**（添付「トラ募集」）

・「心のケア」支援、第１弾。来る３月 25 日（日）定期演奏会へ、弦楽器・合唱の首都圏ボランティア約３０名参加予定。

⑧**「宮城＆福島への生活物資支援」呼びかけ**（添付「支援物資チラシ」）

・「生活必需品」支援を現地ボランティア経由で、被災者へ配布。主として宮城県三陸海岸各地」と、福島県浜通り各地の被災者、特に、行政やボランティアの支援が行き届いていない「小規模仮設住宅」や、アパート・親戚暮らしの被災者への配布に心がける。

・３月４日、宮城県千厩（せんまや）にある「気仙沼被災者仮設住宅」（１３１世帯）に、宮城県大崎市在住ボランティアＳさんの仲間とともに配布募集配布手伝い、気仙沼「ホテル観洋」宿泊、三陸海岸被災地体感ツアーを募集→**ご希望・お問い合わせの方、私へお申し出下さい。個別に詳細ご案内します。**

６　**交流会―25 名参加**（御茶ノ水　居食屋「和民」写真参照。）午後５時 15 分～8 時半

・お互い初めての顔合わせも多く、改めての自己紹介などで、親密な「311 有志」に。